

編集後記

▽『禪研究所紀要』第四十三号をお届けします。

▽本年度は、講演会・研究会をそれぞれ一回ずつ開催しました。春学期は人間文化研究所との共同開催で東北福祉大学非常勤講師の川村昭光先生と岩手県普門寺住職の熊谷光洋先生をお迎えして、「絆―わたしたちは忘れない―」をテーマに、東日本大震災の被災地の現状と課題について写真などを交えながらお話しいただきました。秋学期は、今年度で退職される教養部客員教授の吉田道興先生に最終講義に代えて「道元禅師伝記史料について」という論題で、長年の資料蒐集とご研究成果の要点をご教授いただきました。三名の先生に感謝申し上げます。

▽本号には、吉田先生のご発表の内容のほか、三編を掲載することができました。ご執筆いただいた諸先生方に感謝申し上げます。

▽口絵の実峰良秀禅師木像の写真は、八月に実施した参禅会研修旅行で訪れた、鳥取県米子市の総泉寺で撮影したものです。実峰禅師は、大本山總持寺五院のひとつ如意庵の開基として知られた禅匠です。

▽本年度、新たに菅原研州研究員が本学教養部に着任とともに、当研究所のスタッフに加わりました。曹洞宗総合研究センターに長年務めるなどのキャリアを持ち、当研究所でもその力を大いに発揮してくれると期待しています。

▽一月に、佐藤悦成文学部教授が所長に、木村文輝文学部教授が幹事に就任しました。佐藤教授は学長と兼任となります。両先生の手腕に期待します。

▽当研究所は、平成二十七年に開所五十周年・坐禅堂開単三十五周年を迎えます。秋には記念行事を予定しています。

▽本号の刊行にあたり、ご尽力いただきました関係各位に、心よりお礼申し上げます。
(編集委員 河合泰弘記)

禪研究所紀要(第四十三号)

平成二十七年三月一六日 印刷 (非売品)
平成二十七年三月三一日 発行

発行責任者 佐藤悦成

発行所 愛知学院大学禅研究所

愛知県日進市岩崎町阿良池二二
電話(〇五六)七三一―一一代
郵便番号 四七〇一〇一九五

印刷所

株式会社 あるむ
名古屋市中区千代田三―一―二
電話(〇五)三三三―〇八六一
郵便番号 四六〇一〇〇二二